※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅲ　（数研出版）						
副教材等	チャート式 解法と演習 数学Ⅲ＋C（数研出版） リピート数学Ⅲ＋C（数研出版） スタディアップノート 数学Ⅲ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

微分・積分の計算を中心に、前期で全ての項目を網羅するため、しっかりと予習・復習をすること。授業の進路に合わせて、問題集・参考書をやりながら受験対策を考慮して学習すること。

２　学習の到達目標

・微分・積分を理解することで、複雑な関数式について自らが、解析的アプローチをして数式を理解し解決する方法を習得する。
・事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を身につける。
・さらに将来、社会で数学を積極的に活かすための知識や技能を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	関数、極限、微分、微分法の応用、積分とその応用において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。 また基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、必要な知識を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、関数、極限、微分、微分法の応用、積分とその応用における数学的な見方や考え方を身につけている。	関数、極限、微分、微分法の応用、積分とその応用に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	関数	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数 ・合成関数	a:分数関数・無理関数を理解しグラフや方程式を解くことができる。 b:逆関数の原理と性質を理解する。 c:合成関数を理解しいろいろな関数を理解する。	定期考査	定期考査	小テスト ワークシート
	極限	・数列と極限 ・関数と極限	a: 関数の極限における定数決定問題を解くことができる b: はさみうちの原理を三角関数の極限公式の証明等から理解する。 c: 無限等比数列と無限等比級数の収束条件にかかわる問題を解くことができる	定期考査	定期考査	小テスト ワークシート
	微分法	・導関数 ・いろいろな導関数	a：関数の積・商の導関数の証明を理解する。 b: 三角関数の和積公式を用いて、三角関数の導関数の証明を理解する。	定期考査	定期考査	小テスト ワークシート
	微分法の応用	・導関数の応用 ・いろいろな応用	A:曲線の外部から接線の式を求める問題を解くことができる。 B:漸近線を含め、関数のグラフの概形を描くことができる。(ABCD) 関数の増減表を用いて不等式を証明する問題を解くことができる。	定期考査	定期考査	小テスト ワークシート
	積分法とその応用	・不定積分 ・定積分 ・積分法の応用	a:置換積分、部分積分の計算ができる。特殊な置換積分を理解する。 b:定積分関数の問題を解くことができる。 C:面積・体積を求める式立てができる。 容器に水を注ぐ問題等を通じて、速度問題を理解する。 体積を求める式立てができる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度